

合格体験記（AO方式入学者選抜）

第Ⅱ項 学芸 学部 メディア創造 学科

出身高校名 大阪市立高等学校

（１）同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は将来、今までにない新たなエンターテインメントを生み出したいと考えています。そのために、必要な音響や映像などの演出技術を専門的に学ぶことができるだけでなく、プロジェクトプランニング演習で身につけた技術をどのように形にしていけるかというところまで学ぶことができるのは、同志社女子大学だけだと思ったので志望しました。

（２）AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

幼い頃からダンスを続けていて、たくさんのことを学んできたので、それらを活かして受験したいと思ったからです。また、同志社女子大学では、AO方式入学者選抜の合格者に対するサポートがとても手厚いので、受けることを決意しました。

（３）AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

ダンスを通して身につけた、リーダーシップや表現力をアピールしました。特に部活動でダンス作品の制作を担当したことや、体育大会で応援団長を務めたことなど、自らが積極的に行った活動、全国大会や世界大会に出場した経歴などを書きました。私は資格を持っていないため、その分、これまでの経験で身につけた力の中で自分にしかないと思える力を見つけて、アピールしました。

（４）出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

志望理由書はとにかく自分に正直になって書くことを心がけました。大学が求めている人物像に合わせて、面接に自信を持って臨むことができません。自分らしい書類を作成することが大切だと思います。また、一番苦労したのは課題レポートです。知識を付けるだけでも時間がかかります。さらに、それを言語化するのがとても難しいので、たくさんの人と意見を共有し、考えを深めました。

〔面接〕

「同志社女子大学にどうしても行きたい！」という気持ちを誰よりも強く持って受けることを心がけました。本番までに何度も何度も面接とプレゼンテーションを練習して、焦らず落ち着いて自分の思いを伝えられるようにしました。練習の様子を自分で撮影して、表情や話し方を客観的に見るのもおすすめです。当日はやってきたことに自信を持って、楽しんで話すよう心がけました。

（５）選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試をきっかけにこれまでの自分だけでなく、これからの自分を見つめ直すことができました。想像以上に大変で時間もかかりますが、絶対良い経験になります。リスクも大きくて、不安もあると思います。でも、後悔しないように頑張ってください。応援しています。